

援)が三十一日、浜松市中区のアクトシティ浜松中ホールであった。クラシック、ポップ、ジャズと多彩な約二十曲を披露した。

部員二十八人が、卒業生が作曲したクラシック楽曲



などを合奏。演劇形式を取り入れ、おなじみのデイズニーなどの映画音楽に合わ

さん(モは(二〇二〇年度は)新型コロナウィルスの影響で、友達の前で披露するのは初めて最後だった。忘れられない思い出になった」と話した。(糸井絢子)

障害者アート

県内の障害者によるアート作品を、浜松いわた信金の支店などを巡回して展示するアート展が一日、浜松市中区の同信金駅南支店で始まった。初日にライオンの絵画を出品した山口歩華さん(モ)名古屋市在住、浜松市北区出身と母美智子さんが同支店を訪れ、思いを語った。

歩華さんの作品は、北海道の旭山動物園で見たライオンを表情豊かに表現。クレヨンで輪郭やひげなど細部を描き、指につけた水彩絵の具でトントンとたたいて色付けした。

浜北特別支援学校小学部五年のころから描き始めたといい、母美智子さんは「障害がある子どもこんな絵を描くんだと知ってもらい、元氣や勇氣を感じてもらえたら」と話す。

展示は、障害者の芸術活動を支援するNPO法人アートコネ

出品の山口さん母「元氣・勇氣感じて」

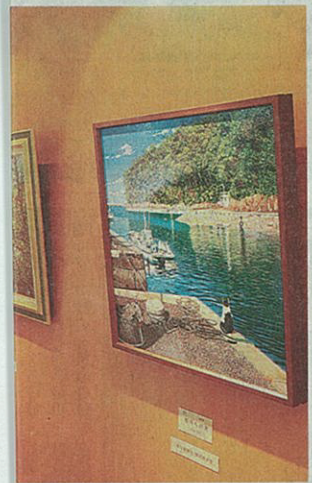
クトしずわか(「まちじゅうアート」事業の一環で、同信金が賛同した。来年三月まで、県西部の支店など十二カ所を巡回し、山口さんから障害者四人の作品を月ごとに入れ替えて展示する。(広瀬美咲)

中区で作品展



展示中の作品と作者の山口歩華さん(左から2人目) =浜松市中区で

秀作9点



浜松市中区で

品展に出展された百八十六点のうち、来場者投票で選ばれた秀作を展示。このうち愛知県新城市にある仏坂トンネルの風景を描いた鶴見五男さん(モ)北区は「実際に訪れ、写真を見な

死亡事故現場 住民らと診断

浜北署

浜北署は一日、三月二十五日に死亡事故が発生した浜松市浜北区高畑の市道で、地元自治会やシニアクラブ、道路管理者などと現場診断をした写真。

事故は午後五時二十五分ごろ、幅員約五メートルの見通しの良い直線道路で起きた。自転車に乗っていた八十三歳の無職女性が、後ろから追い抜こうとした乗用車にはねられて転倒、頭を強く打ち死亡した。

診断では、署員が事故の概要などを説明。参加者らは現場を確認しながら、事故防止策について考えた。

住民らからは「運転者のマナー向上」「自転車側も反射材を身に着けるなど自己防衛策が必要」などの意見があった。道路管理者は「視覚的に道路が狭く見える線を引く必要がある」と話した。(伊藤一樹)

事件事故

★東区の集合住宅から出火 1日午後0時20分ごろ、浜松市東区北島町の2階建て集合住宅から出火した。2階に住む男性が「コンセントから火が出ている」と119番通報した。火は約4時間に消止められ、延